

## 〈解答〉

- ① 1 ①：愛媛 ②：岐阜  
2 ①：北西 ②：季節風 ③：多い  
3 (1) I：C II：A III：B (完答) (2) ウ  
4 記号：ア 92%

配点 ①の3(1)は2点、他は各1点 10点満点

## 〈解説〉

- ① 1 1 図の四国を通るルートでは、愛媛県、徳島県を通り、兵庫県の淡路島を通して、本州に入っている。
- 2 福井市は、日本海側の気候に属し、冬は北西の季節風の影響を受けて雨や雪が多く、晴れの日が少ない。しかし、沿岸を流れる暖流の対馬海流の影響で、気温はそれほど低くない。銚子市は、太平洋側の気候に属し、冬は乾いた北西の季節風が吹くので晴れの日が多く、雨が少ない。
- 3 (1) Iは畜産の割合が大きいCの鹿児島県で、豚の飼養頭数は全国で1位、肉用牛の飼養頭数は北海道に次いで2位である(2020年)。IIは米の割合が大きいAの富山県で、新潟県の越後平野から福井県の福井平野にかけては、冬の積雪が多いため、米の単作地帯になっている。水田率が高く、東北地方とならぶ日本の穀倉地帯である。IIIは野菜の割合が大きいBの高知県で、冬も温暖な気候やビニールハウスなどを利用して、夏野菜のなす、きゅうり、ピーマンなどを、他の地域より早く育てて、冬から春に出荷する促成栽培が盛んである。
- (2) 日照時間が長く、水はけのよい山梨県の甲府盆地では、ぶどう、ももなどの果樹栽培が盛んである。
- 4 アは秋田県、イは静岡県、ウは広島県である。農山村では若い人の人口流出がはげしく、人口の減少と高齢化が進んでいる。人口の減少が進むと、学校や病院がなくなったり、バス路線などの公共交通機関が廃止されたりして、地域社会を維持する機能が弱くなっていく。